

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

剰余金配当基準日 3月31日(期末配当)
9月30日(中間配当)

定時株主総会 毎年6月(基準日:3月31日)

公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL
<http://www.nisshinbo.co.jp/>

※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
TEL 0120-232-711(通話料無料)

株式に関するお手続き

【証券会社で口座を開設されている株主様】
当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主様】
三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)にご連絡ください。
TEL 0120-244-479(通話料無料:24時間受付)
インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株主優待のご案内

当社の株主優待制度は、社会貢献活動への寄付または日清紡グループの紙製品ギフトセットのどちらかをお選びいただける内容となっております。

今年度の社会貢献活動への寄付につきましては、東日本大震災の被災地復興支援のため、日本赤十字社の「東日本大震災義援金」を寄付先といたしました。

詳細は、ご優待対象の株主様へ同封いたしました株主優待申込みはがきをご覧ください。

○株主優待の内容

次のいずれか1つを選択いただけます。

1 株主様からのお申込み分1件あたり3,000円を当社が取りまとめ、日本赤十字社「東日本大震災義援金」へ寄付

2 家庭紙製品ギフトセット(3,000円相当)
※日清紡グループの日清紡ペーパー プロダクツ(株)製品です。



○ご優待対象の株主様

2015年3月31日現在で、1,000株以上保有する国内在住の個人株主の方。

○ご優待のお申込み方法

ご優待対象の株主様には、株主優待申込みはがきを同封しておりますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。なお、お申込みの締切りは2015年7月31日となっておりますので、ご注意ください。

NISSHINBO

第172期 株主通信

2014年4月1日～2015年3月31日

日清紡ホールディングス株式会社
〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

UD
FONT 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



日清紡ホールディングス株式会社
証券コード 3105



代表取締役社長
かわた まさや
河田 正也

「環境・エネルギーカンパニー」グループとして
企業価値の向上に邁進します。

株主の皆様には、日頃より日清紡グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日清紡グループは、「無線・エレクトロニクス」、「車載・機器」、「生活・素材」、「新エネルギー・スマート社会」を戦略的事業領域として、戦略目標である2017年度売上高6,000億円、ROE9%の達成に向けた取り組みを進めていますが、新たに次期長期戦略目標として2025年度売上高1兆円、ROE12%超の達成を掲げました。

「既存事業の強化」、「研究開発の成果発揮」、「M&Aの積極展開」を成長の3本柱として、グループ一丸となってさらなる成長を目指してまいります。

株主還元については、当期末の配当は1株当たり7円50銭とし、中間配当を合わせた年間配当額は1株当たり15円となりました。また、当期において1,628万5千株の自己株式の取得を実施いたしました。

なお、本年5月の取締役会において、連結配当性向30%程度を目安とする新たな配当政策を決議いたしました。この配当政策は次期（2016年3月期）から適用し、年間配当額は1株当たり30円（中間配当15円、期末配当15円）と増配を予定しております。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

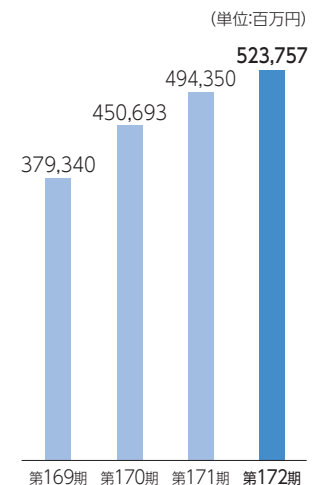
Contents

株主の皆様へ p-1
 当期の連結業績について p-2
 日清紡グループの事業概況 p-3
 連結財務諸表の概要 p-5
 特集 p-7
 トピックス p-9
 会社・株式概要 p-10
 株主メモ・株主優待のご案内 巻末

● 売上高

5,237億57百万円

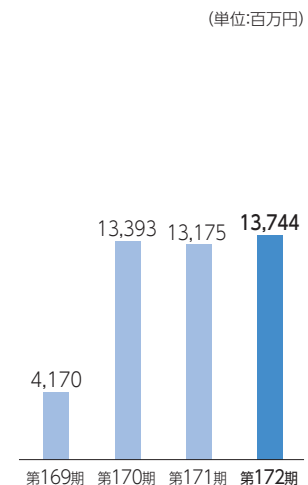
(前期比5.9%増)



● 営業利益

137億44百万円

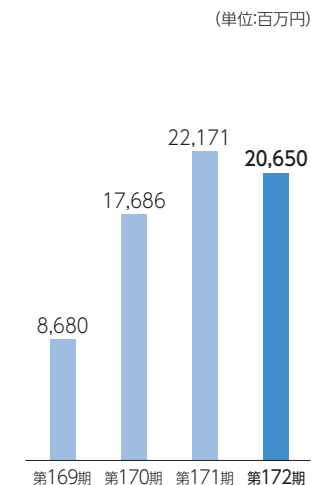
(前期比4.3%増)



● 経常利益

206億50百万円

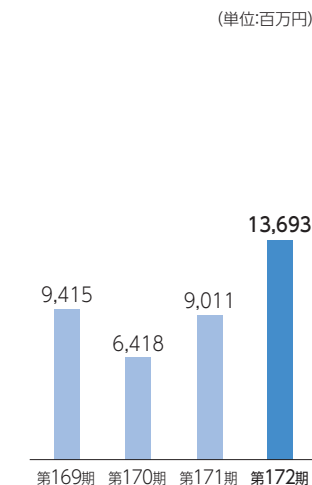
(前期比6.9%減)



● 当期純利益

136億93百万円

(前期比52.0%増)



当期における日清紡グループの売上高は、エレクトロニクス事業やブレーキ事業において売上が大幅に増加したことなどにより、増収となりました。

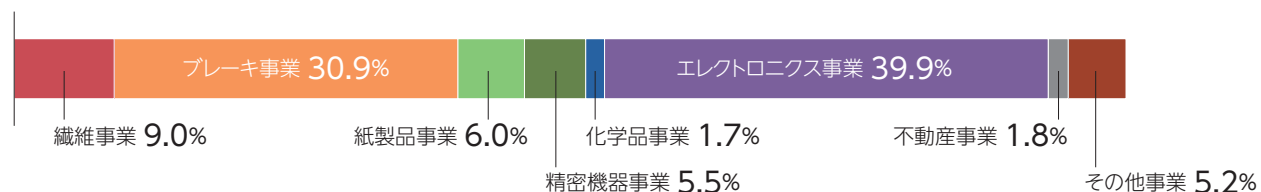
営業利益は、エレクトロニクス事業が日本無線(株)の海上機器事業の収益改善、新日本無線(株)の電子デバイスの売上好調、長野日本無線(株)の黒字化などにより利益が増加し、紙製品事業も

好調だったことなどから、増益となりました。

経常利益は、持分法による投資利益や外貨建て貸付金に係る為替差益が減少したことなどにより減益となりましたが、当期純利益は、日本無線(株)他の固定資産売却益の計上や日本無線(株)の事業構造改善費用の減少に加え、国内外子会社における繰延税金資産の計上による税負担の減少などにより、増益となりました。

日清紡グループの事業概況

事業別売上比率



繊維事業

シャツ、テキスタイル、デニムなど



売上高 **473億61百万円**
(前期比7.8%減)

営業利益 **△4億75百万円**
(前期比10億27百万円の悪化)

インドネシア子会社の販売が好調だったものの、CHOYA(株)の事業譲渡に伴う大幅な売上減少や国内販売の低調、円安による海外からの仕入価格の高止まりの影響などから減収となり、損失を計上しました。

ブレーキ事業

摩擦材、アッセンブリ製品など



売上高 **1,618億86百万円**
(前期比8.9%増)

営業利益 **△20億68百万円**
(前期比2億55百万円の悪化)

輸出の増加や米国・韓国子会社の売上増などから増収となり、利益も順調に改善しているものの、円安によりTMD社買収等に伴うのれんの償却費負担が増加したため、損失が拡大しました。

紙製品事業

家庭紙、洋紙、紙加工品など



売上高 **312億80百万円**
(前期比1.3%減)

営業利益 **4億25百万円**
(前期比905.5%増)

家庭紙の販売数量の減少や円安による原料高があったものの、家庭紙商品の価格改定、パッケージやプリンター関連製品の好調、中国子会社の収益改善などにより、減収ながらも増益となりました。

精密機器事業

精密部品、プラスチック成形品、太陽電池製造装置など



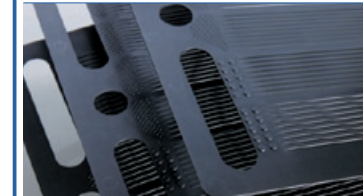
売上高 **286億7百万円**
(前期比0.2%減)

営業利益 **2億63百万円**
(前期比75.5%減)

海外向けのプラスチック製品や中国で生産した自動車用精密部品の販売が増加したものの、システム機事業の受注減少や中国子会社の立ち上げに伴う費用負担などにより、減収・減益となりました。

化学品事業

ウレタン・カーボン製品、機能化学品、燃料電池セパレータなど



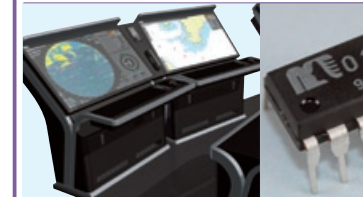
売上高 **89億42百万円**
(前期比1.5%増)

営業利益 **5億14百万円**
(前期比387.3%増)

断熱製品やカーボン製品が減収・減益となったものの、エラストマー製品、機能化学品、燃料電池セパレータがそれぞれ売上を伸ばし利益も改善したため、増収・増益となりました。

エレクトロニクス事業

情報通信機器、半導体製品、電源・エネルギー機器など



売上高 **2,091億15百万円**
(前期比11.4%増)

営業利益 **127億3百万円**
(前期比35.8%増)

事業構造改革を進める日本無線(株)の防災無線システムの売上増や海上機器事業の収益改善、新日本無線(株)の電子デバイスの好調、長野日本無線(株)の黒字化などにより、増収・増益となりました。

不動産事業

宅地分譲、土地・建物賃貸など



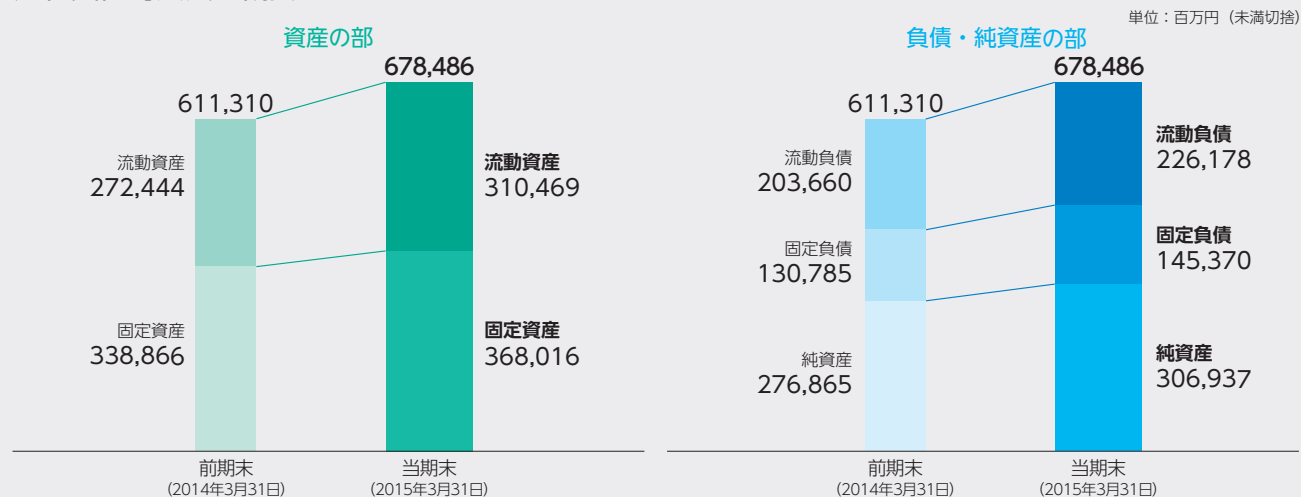
売上高 **92億46百万円**
(前期比12.5%減)

営業利益 **66億69百万円**
(前期比14.3%減)

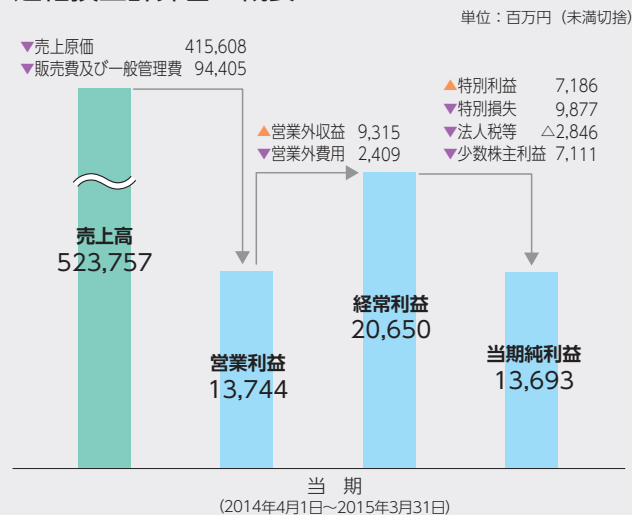
遊休不動産を活用した宅地分譲事業や土地・建物賃貸事業は順調に推移したものの、前期末で浜松工場跡地の分譲が終了した影響などから、減収・減益となりました。

連結財務諸表の概要

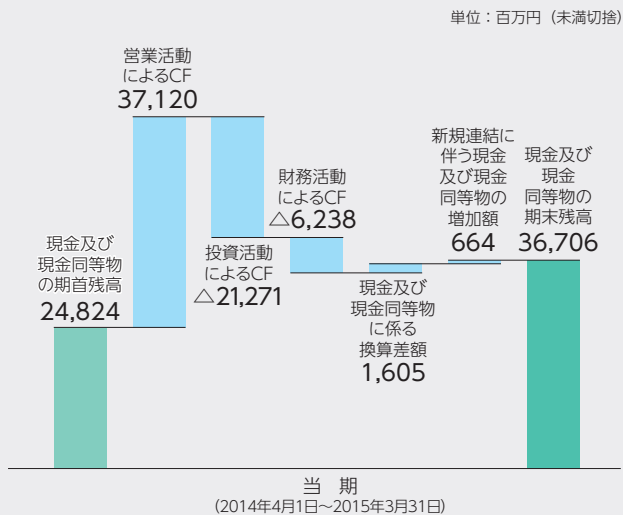
連結貸借対照表の概要



連結損益計算書の概要



連結キャッシュ・フロー計算書の概要



連結貸借対照表の要旨

科目	前期末 (2014年3月31日)	当期末 (2015年3月31日)
資産の部		
流動資産	272,444	310,469
固定資産	338,866	368,016
有形固定資産	174,246	184,885
無形固定資産	46,146	35,914
投資その他の資産	118,473	147,216
資産合計	611,310	678,486

連結損益計算書の要旨

科目	前期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)	当期 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)
売上高	494,350	523,757
売上原価	395,083	415,608
売上総利益	99,266	108,149
販売費及び一般管理費	86,091	94,405
営業利益	13,175	13,744
営業外収益	12,030	9,315
営業外費用	3,034	2,409
経常利益	22,171	20,650
特別利益	1,691	7,186
特別損失	9,345	9,877
税金等調整前当期純利益	14,517	17,958
法人税等	3,643	△2,846
少数株主損益調整前当期純利益	10,873	20,805
少数株主利益	1,861	7,111
当期純利益	9,011	13,693

単位：百万円（未満切捨）

科目	前期末 (2014年3月31日)	当期末 (2015年3月31日)
負債の部		
流動負債	203,660	226,178
固定負債	130,785	145,370
負債合計	334,445	371,548
純資産の部		
株主資本	194,785	186,301
その他の包括利益累計額	44,445	72,608
新株予約権	264	221
少数株主持分	37,369	47,805
純資産合計	276,865	306,937
負債及び純資産合計	611,310	678,486

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	前期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)	当期 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,075	37,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,862	△21,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,321	△6,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,530	1,605
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,421	11,216
現金及び現金同等物の期首残高	18,403	24,824
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	664
現金及び現金同等物の期末残高	24,824	36,706

期末配当について

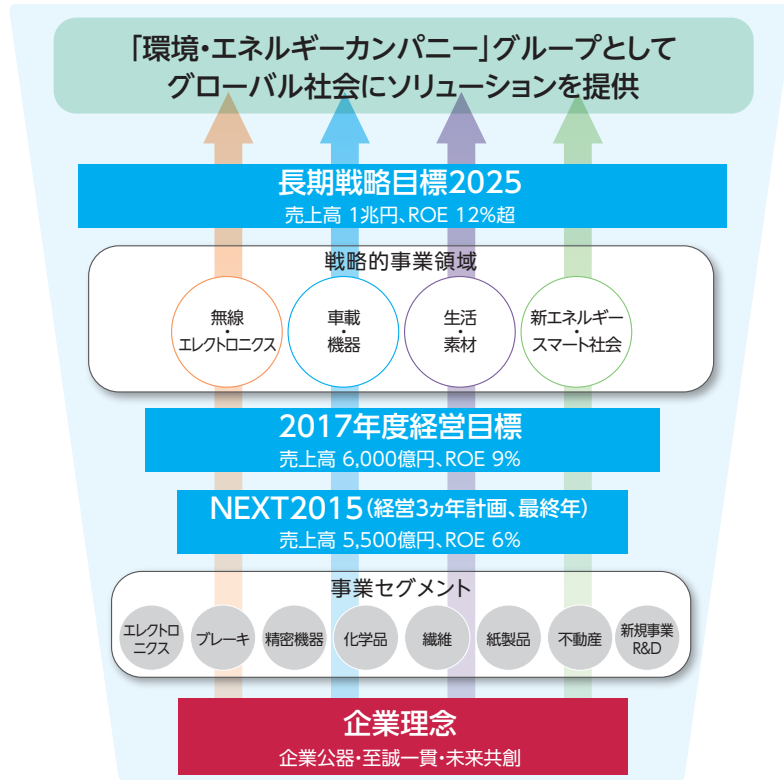
当期の期末配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 期末配当金 1株につき金7円50銭
2. 期末配当の効力発生日ならびに支払開始日 2015年6月5日(金)

「環境・エネルギーカンパニー」グループの新たな挑戦

日清紡グループでは、「企業公器」、「至誠一貫」、「未来共創」の企業理念のもと、事業を通じて人類社会に貢献し、社会とともにわたしたち自身も成長していくことが、企業としての使命であると考えています。

「環境・エネルギーカンパニー」グループとしての将来像と大きな方向性を見据えつつ、「無線・エレクトロニクス」、「車載・機器」、「生活・素材」、「新エネルギー・スマート社会」に関わる事業分野に注力し、長期戦略目標の2025年度売上高1兆円、ROE12%超の達成を目指して、グループ企業価値のさらなる向上に邁進していきます。



日清紡グループの企業理念

企業公器

企業は社会の公器であるとの考えのもと、地球環境問題へのソリューションの提供を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。

至誠一貫

世界のさまざまな文化や慣習、さらには生物の多様性等を尊重し、企業人としての誇りをもって公正・誠実な事業活動を行います。

未来共創

変化への対応とたゆまぬ挑戦を続け、ステークホルダーの皆さまとともに豊かな未来を創造します。

日本無線の長野事業所 新工場完成



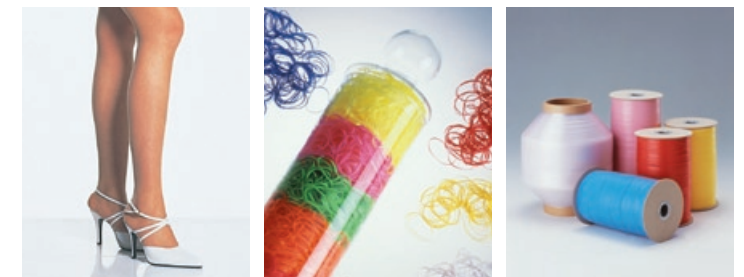
本年3月、日本無線(株)の長野事業所において、防災行政無線などの生産を行う新工場が完成しました。現在、本格稼働に向け、同社の三鷹製作所から設備・要員の移転を進めており、昨年12月に完成した先端技術センターと併せて日本無線(株)、長野日本無線(株)、上田日本無線(株)のエレクトロニクス事業グループ3社の開発・生産の主要拠点となります。

これによりさらに質の高い製品・サービスを提供し、市場シェアを拡大してまいります。

モビロン・エラストマー事業を統合してシナジーを創出

本年4月1日付で日清紡ケミカル(株)のエラストマー*事業を日清紡テキスタイル(株)のモビロン事業に事業統合しました。

モビロン・エラストマー事業は、1965年に徳島事業所でポリウレタン系の合成繊維スパンデックス糸「モビロン®」を開発したことからスタートしました。1991年より主に衣料繊維用途は繊維事業、産業資材用途は化学品事業として別々に事業展開してきましたが、製品の基盤技術や生産技術で共通する部分が多く、両事業を統合することにより、商品開発力の強化、販路の拡大、事業効率の向上を図ります。



モビロン (ストッキング用)

モビロンバンド

モビロンテープ

*エラストマーとは、elastic(弾性)とpolymer(重合体)を組み合わせた造語で、ゴム弾性を持つ工業用材料の総称

CM
紹介

「♪ニッシンボー、名前は知ってるけど～」と深田恭子さんが熱唱!

本年4月より、日清紡グループの企業CM「ドッグシアター」シリーズに人気女優の深田恭子さんが出演しています。

深田さんがCMソングを歌ったり、犬たちとコミカルで可笑しい掛け合いを演じたりするなど、思わず「クスッ」と笑ってしまう印象的なCMに仕上がりました。

これからもCMを通じて、日清紡グループが「いま、必要な会社」であることをアピールしていきます。どうぞご期待ください。



プロテニスプレーヤー 山崎純平選手と所属契約を締結

当社は、江原弘泰選手、辻佳奈美選手に続き、プロテニスプレーヤーの山崎純平選手と所属契約を締結しました。

山崎選手は、8歳でテニスを始め、これまで国内外のジュニア大会で数多くの輝かしい戦績を残してきました。昨年のユースオリンピックでは日本代表として、シングルス4位、ダブルス銅メダル、ミックスダブルス銀メダルの好成績を収めています。身長180cmの恵まれた体格を生かした強力サービスを武器に、粘り強いオールラウンドプレーヤーとして世界での活躍が期待されています。

日清紡グループは「次代を担う若者の育成」を願い、全日本ジュニアテニス選手権の特別協賛や若手プロテニスプレーヤーへの支援など、スポーツ振興による社会貢献を果たしていきます。



やまざき じゆんぺい 山崎 純平 プロフィール	生年月日	1997年7月2日	ジュニア時代の 主な戦績 全日本ジュニア12歳以下シングルス 優勝(09年)、14歳以下世界ワールドジュニア国別対抗戦 世界2位(11年)、世界スーパージュニア(GA) 準優勝(13年)、アルゼンチン国際ジュニア(G2) 優勝(14年)、ユースオリンピック南京 単4位・複銅メダル・混複銀メダル(14年)など
	出身地	埼玉県加須市	
	身長	180cm	

会社概要 (2015年3月31日現在)

商号	日清紡ホールディングス株式会社 Nisshinbo Holdings Inc.
設立	1907(明治40)年2月5日
資本金	27,587,976,204円
従業員	208名(単体) 21,387名(連結)
本社	〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

主なグループ会社 (2015年3月31日現在)

グループ会社	135社(国内45社、海外90社)
・連結子会社	106社
・非連結子会社	11社(うち持分法適用会社1社)
・関連会社	18社(うち持分法適用会社7社)

繊維事業

日清紡テキスタイル(株)、ブラジル日清紡、ニカワテキスタイルインダストリー、日清紡インドネシア

ブレーキ事業

日清紡ブレーキ(株)、TMD FRICTION GROUP S.A.、日清紡オートモーティブマニファクチャリング、日清紡ソブーンオートモーティブ、セロン・オートモーティブコーポレーション

紙製品事業

日清紡ペーパー プロダクツ(株)、日清紡ポスタルケミカル(株)、東海製紙工業(株)、大和紙工(株)

精密機器事業

日清紡メカトロニクス(株)、日清紡精機広島(株)、日清紡メカトロニクス(上海)、日清紡メカトロニクス(タイランド)

化学品事業

日清紡ケミカル(株)、(株)日新環境調査センター

エレクトロニクス事業

日本無線(株)、新日本無線(株)、長野日本無線(株)、上田日本無線(株)

役員 (2015年6月26日現在)

取締役	取締役会長*1	鷓 澤 静
	取締役社長*1	河 田 正 也
	取締役専務執行役員	村 上 雅 洋
	取締役常務執行役員	萩 原 伸 幸
	取締役常務執行役員	西 原 孝 治
	取締役執行役員	土 田 隆 平
	取締役執行役員	木 島 利 裕
	取締役執行役員	奥 川 隆 祥
	取締役執行役員	馬 場 一 訓
	取締役*2	秋 山 智 史
	取締役*2	松 田 昇 典
	取締役*2	清 水 啓 典
	取締役*2	藤 野 しのぶ

*1は代表取締役 *2は社外取締役

監査役

常勤監査役	藤 原 洋 一
常勤監査役	大 本 巧 洋
監査役*	川 上 俊 彦
監査役*	富 田 俊 彦

*は社外監査役

株式状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	371,755,000株
発行済株式総数	178,798,939株
株主数	11,431名

所有者別株式分布状況 (2015年3月31日現在)

